

サンホセ（SJ）・アグアスカリエンテス（AC）日本人学校 小学部第5年生合同遠隔授業 社会科学学習指導案

指導者 T1 宮本 豪（SJ）

T2 阿部 邦広（AC）

1 単元名 これからの食料生産とわたしたち

2 目 標

食料生産に従事している人々の工夫や努力などが、国民の食料を確保するうえで重要な役割を果たしているということについて考えを深め、表現することができる。（思考・判断・表現）

3 指導観

（1）遠隔授業における視点

本単元では、国民の食生活を支える農業や水産業において、そこで従事する人々が安全で良質な物を確保するために取り組んでいる工夫や努力によって、国民生活の維持と向上が図られていることを児童が理解し、食料生産の意味を考えることができるようになることを目標としている。児童の食べ物に対する考え方は多様であり、地域や生活習慣によって幅広い。遠隔合同授業を通してその多様性に触れることで、学びをより深めることができると考える。

本校（S J 校）の研修テーマは『深い学びの実現』であり、重点目標は「I C T機器を効果的に活用し、児童生徒の対話的な学習を充実させる」ことである。この目標を達成するために、A C 校との遠隔合同授業を Zoom で実施し、協働学習を通して児童が多様な意見に触れ、考えを深めることができるようにしていく。

遠隔合同授業における、協働学習の質を高める手立てとして、学習支援アプリケーションである「ロイロノートスクール」を Zoom と併用する。ロイロノートスクールでは、ワークシート等の配布や回収、比較提示などを行うことができる。また、考えを記述し、互いに送り合ったり、資料を共有したりすることもできる。こうした機能を生かすことで、実際の教室で行えることを、遠隔授業においてもある程度可能にすることができると考える。

ロイロノートスクールによって配布するワークシートとして、独自の思考ツール「シャカイカチャート」を活用する。この思考ツールの特徴としては、学習課題に対する仮解答をあらかじめ提示することにある。この仮解答は、それだけでは意味を理解し難く、他の情報を収集し、関連付けなければ真意に迫ることができない。このような過程の中で、児童が意欲的に調べ学習を行い、その考察や予想を話し合うことで、多角的に考える力を育みたい。本時では、「国産の食料品はなぜ安全なのか」という問いに対し『見えるから』という仮解答を提示する。この真意に迫るため、トレーサビリティや生産者の顔の表示といった情報を関連付け、『見えるから』という仮解答の真意をつかませたい。

まとめでは、学習課題に対する答えを、仮解答の真意を踏まえたものに再言語化する。その際にループリックを提示することで、視点を明確にし、考えを整理して表現することができると考える。

また、単元を通して各授業末に「Google form」による振り返りの時間を設定する。Google form は Zoom のチャットから URL で移動し、手軽に振り返りを行えるだけでなく、その内容を教員側が蓄積・分析しやすいという利点がある。自身の学びや学習態度を振り返り、学びに向か

う意欲と充実感を培いたい。

単元前半では、両校の児童がコミュニケーションをとりながら課題把握ができるように、アイスブレイク形式の活動で国内の食料自給率について理解を深めさせ、同時にロイロノートスクールの様々な操作を活動に取り入れることで、アプリケーションの操作に慣れさせていく。このようにして、ICT活用力についても単元を通して段階的に向上させていきたい。

単元後半では、日本の農業協同組合（JA）の方へZoomでバーチャルインタビューを行う。場所を越えて繋がることのできるZoomの特徴を生かし、食料生産に携わる人たちの生の声を聞くことで、児童の学びをさらに深めるとともに、我が国の農業における課題について、他人事ではなく自分事であるという意識をもたせたい。我が国の食料生産の諸課題に向き合い、自分たちなりの解決策を提案することで、本単元の目標達成に迫りたいと考える。

（2）児童の実態（S J 小学部第5学年 男子0人、女子1人、計1人）

（A C 小学部第5学年 男子0人、女子2人、計2人） 両校合計3人

事前の実態調査（8月25日実施） 3人

調 査 内 容	調 査 結 果
(1) 国産（日本国産）や外国産の食べ物にどんな印象をもちますか。	(1) 【国産】「美味しいし食べやすい」「安全・食べやすいように工夫している」「和食」「昔から伝わる食べ物」 【外国産】「おいしいけどあまり好きではない」「色気がある」「パンが多い」「安い」
(2) 遠隔授業が楽しいですか。	(2) 楽しい…3人、まあまあ楽しい…0人、どちらともいえない…0人、あまり楽しくない…0人、楽しくない…0人
(3) 遠隔授業で友だちの意見を聞きながら学習をすることができていますか。	(3) できている…0人、まあまあできている…1人、あまりできていない…1人、できていない…1人

調査内容から、日本産や外国産の食料品について、ある程度具体的なイメージをもってはいるが、安全性に注目している児童は少ないということが分かる。安定した食生活を送れることが、様々な人の様々な工夫や努力によって支えられていることに気付かせたい。

遠隔授業において児童は楽しく取り組んでいる。しかし、S J校・A C校、両校共に学級の人数が非常に少なく、複数の友だちの意見を聞く経験が少ない。特にS J校は1人学級のため難しい。合同遠隔授業を通して、普段の環境を越えた活発な意見交流ができることを期待する。

4 学習計画（6時間扱い）※学校が再開されていないため、自宅からのオンライン授業で実施

時	主 な 学 習 内 容	学習形態
1	「日本がロックダウン！食べられる料理を確保せよ！」 ゲームを通して日本が食料を輸入に頼っていること、食料自給率が低いことに関心をもつ。	合 同
2	「どうして食料品の輸入が増えたのだろう」 シャカイカチャートを活用して調べ、話し合う。	合 同
3 構	「どうして“国産”は安全なの？それは本当？」 シャカイカチャートを活用して調べ、話し合う。	合 同
4	「食料を安定して確保するには、どのような工夫や努力が必要なのだろう」 農業協同組合（JA）の方へにバーチャルインタビューを行い、話し合う。	合 同
5	「（インタビューで分かった課題）を解決するためにはどうしたらいいだろう」 JAの方から聞いた諸課題について、解決策を話し合う。→JAに提案	合 同
6	「これからの食料生産について学んだことや大切にしていかなければならないことについて発信しよう！」学習を振り返り、音声付きスライドショーを作る。	合 同

5 本時の授業

(1) 目標

国産（日本国産）や外国産の食料品における安全性を、生産・販売等に携わる人々の様々な工夫や努力と関連付けて考え、表現することができる。

(2) 準備

- ・Zoom ・iPad 教師用2台、児童生徒用3台 ・Applepencil 教師用2本、児童生徒用3本
- ・P C 教師用2台、児童生徒用3台 ・国産牛肉と外国産牛肉の写真（JPEG） ・ファシリテーションカード
- ・ワークシート（PDF） ・ロイロノートスクール（アプリケーション[iPad にインストール]）
- ・調べ学習用資料（JPEG 等） ・検疫所動画（NHK for school） ・Google form（Web）

(3) 展開

☆遠隔授業における視点 □評価（方法）

学習活動及び内容	指導上の留意事項（○）	
	T 1	T 2
1 前時の学習内容を確認する。 ・今日のF T（ファシリテーター）を決める。 2 「国産（日本国産）牛肉」と「ベトナム産牛肉」のどちらを買いたいかな選ぶ。 ＜予想される児童の反応＞ ・国産の方が安心だから国産がいい。 ・ベトナム産の方が安いけど、外国のお肉は少し不安。 ・安いからベトナム産を買う。	☆前時のワークシートを画面共有し、内容を想起しやすいようにする。 ○F Tにファシリテーションカードを渡す。	☆画面共有ができていないか確認し、できていない場合はT 2が共有する。
3 本時の学習課題を確認する。 どうして“国産”は安全なの？それは本当？ （仮解答）『よく見えるから』 ・予想を話し合う。	○写真を提示して選ばせる。国産を選んだ場合、その安全性が理由になってくることに着目させる。また、ベトナム産を選んだ場合は、その理由を受け止めたうえで、仮に値段が同じであった場合はどちらを選ぶかも問い、国産の安全性に焦点を合わせる。	☆「ミヤちゃん」が問いかける児童を指名する。
4 国産品の安全性について、ロイロノートを使用して調べ学習を行う。 （1）調べる資料を次の中から選択する。 ① お肉のナゾの番号 ② たくさんの顔 ③ おいしさアプリ ④ 食べる通信 （2）資料から分かったことをテキストカードに記入する。 ＜予想される記述例＞ ① お肉などに個体番号を付けることで、どんなえさを食べ、どんな環境で育ったのか分かるので、安心して買える。 ② 野菜などの売り場に、生産者の顔写真や名前、住所が書かれているので、誰が責任をもって育てたかが分かり、安心できる。 ③ アプリで野菜や果物の新鮮さなどを調べることで、安全性を確認できる。 ④ 生産者の仕事に取り組む姿や、こだわりを知ることで、安心し、納得して買える。	☆社会科キャラクター「ミヤちゃん」をバーチャル背景で登場させ、学習課題について児童に問いかける。 ○仮解答を提示し、国内で起きた食料品問題に関係する新聞記事の一部紹介（画面共有）することで、安全性を確保することの重要性を認識させるようにする。	☆画面共有ができていないか確認し、できていない場合はT 2が共有する。 ☆ワークシートをロイロノートで配布する。
	☆児童が、自分たちで資料を一人一つずつ選択して分担して調べるようにする。資料が一つ余るので、もしも自分の担当が早く終わった児童がいたら、調べても良いことにする。 ☆各資料は、ロイロノートの資料箱に保存しておく。	
	☆児童が調べ学習をしている間、ブレイクアウトセッションでミーティングルームを2つにする。メインルームで児童に画面共有をさせ、必要に応じて助言をする。 ○資料の内容が安全性にどうつながるのか児童が悩んでいる際は、その物の実態や成長過程が明確になることでどう感じるか考えるように促す。	☆ブレイクアウトセッションにおいて、セッションルームで児童に画面共有をさせ、必要に応じて助言をする。 ☆調べ学習中にロイロノートや端末などの不具合がないか様子を見る。なんらかの不具合が起きた場合は対応し、T 1に伝える。

5 食料品の安全性について話し合う。 (1) 調べた内容を報告し合い、ワークシートにそれぞれの内容をまとめる。 (2) 検疫所の動画を見て分かったことを話し合う。 ＜予想される児童の発言＞ ・輸出品も日本の法律に合わせて安全性を確かめられていることが分かった。 ・検疫所で食料品に使われている農薬などをチェックし、安全性を確かめてからお店に並んでいる。 ・外国産でも安全と言えるのかもしれない。 (3) 学習課題に対する答えについて話し合う。 ＜予想される児童の意見＞ ・国内産は誰が作ったか分かるから安心。 ・どんな風に作られたかが分かるって安心。 ・消費者に食料品について知ってもらおうと色々な人が工夫や努力をしている。 ・『よく見える』っていうのは、食料品の色々な情報が分かるってことかな。 ・外国産もきちんとチェックしてもらうことで安心して買うことができる。	☆各児童が内容を報告している際に、資料画像を画面共有する。 ☆報告が終わり次第、ロイロノートで互いにテキストカードを送り合い、自分のワークシートに友達のを貼り付けるようにする。	☆画面共有ができていない場合はT2が共有する。 ☆児童が互いに送り合うテキストカードを教師にも送ってもらい、教師用のワークシートに貼り付けておく。
6 本時の学習を振り返り、まとめを行う。 各自がワークシートに記入する。	☆ロイロノートで動画のWebカードを送り視聴させる。また、ブレイクアウトで別ルームに移動させ、視聴後戻るように指示する。(コーディングのため)	
国産の食料品は、生産者の顔や育ててきた記録などを消費者に見えるようにすることで安全性を保っている。 外国産も検疫所で検査などを行うことで安全性を保っている。	○「外国産も安全」という意見が出た場合、国産と比べた場合の安全性という点については軽く触れる程度にする。 ☆ワークシートを画面共有し、これまでの情報をPC画面で確認しながら話し合えるようにする。	☆検疫所について児童から出された意見をロイロノートのテキストカードにまとめ、各児童に送る。また、教師用ワークシートにも貼り付ける。 ☆画面共有ができていない場合はT2が共有する。
7 本時の授業の自己評価を行う。 Google formで振り返りを入力する。	○「よく見える」という仮解答がどういう意味なのか、自分たちの調べたことと結び付けて考えるように促す。 ○ワークシートに、課題に対する答えを話し合いの内容を踏まえて自分の言葉で書くように指示する。	
8 次時の学習に見通しをもつ。	☆ロイロノートに提出箱を設置する。	☆バーチャル背景に、ループリックを提示し、まとめを行う視点を示す。
	思 国産・外国産食料品の安全性が、生産や販売に携わる人々の工夫や努力によって保たれているということを考え、自分の言葉で表現することができる。 (ワークシート、発表) A: 「よく見える」ということは、トレーサビリティや生産者の顔など、食料品の情報が分かるということであり、このような情報が国産品の安全性確保につながっているということ、また、検疫所によって外国産品の安全性も検査されているということについて、具体的に自分の言葉でまとめている。 B: 「よく見える」ということは、トレーサビリティや生産者の顔など、食料品の情報が分かるということであり、それによって国産品の安全性が確保されているということについて、自分の言葉でまとめている。 ☆まとめを記入し終わった児童から、提出箱にワークシートを提出し、Google formで振り返りをするように指示する。 ☆ロイロノートで各児童の課題に対する解答を投影・比較し、共通理解を図る。 ☆Google formのURLをチャットに貼り付ける。Google formが機能しているか確認する。 ☆ロイロノートの投影がうまくいかない場合、T2が行う。 ○次時では、現場で働く人にバーチャルインタビューをすることで、食料を安定して確保するためにどのような試みをしているのか、課題は何かを探ることを告げる。	

ワークシート（シャカイカチャート）

2020.9.29 シャカイ・イカチャート

どうして“^{こくさん}国産”は安全なの？ ^{あんぜん}それは本当？ ^{ほんとう}





よく見えるから～

資料（3つ選ぶ）

- ① お肉のナゾの番号
- ② たくさんの顔
- ③ おいしさアプリ
- ④ 食べる通信

解決

資料（ ）

資料（ ）

資料（ ）

資料（ ）




